

ガーナでお絵描き
くれよん プロジェクト 43号

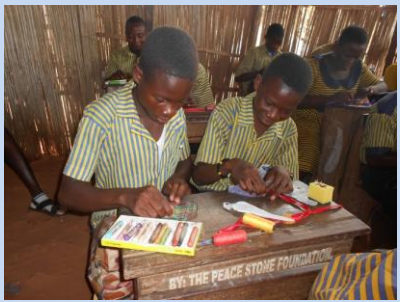
早いもので、もう師走となりました。ここガーナは、これからが一番暑い時期となつてきます。また、サハラ砂漠からの砂が飛んでくるハルマッタンの「ハマターン」の時事となります。

ハマターンの季節は前方の景色が真っ白、また日中の太陽も白く霞んで見えます。また体調不良となる人が多くなるのもこの時期です。

さて、今号43号は、10月の活動報告をします。10月は、ピユアウォーターの袋を使ってつまみ細工を応用したループタイ作りをしました。ピユアウォーターは、50㉿の飲用水で一袋15ペセワセから20ペセワセで買えます。この飲用水の袋を使ったエコバック作りなどに取り組んでいる現地の団体もあります。またこの袋はある一定の量を集めて現金と交換するシステムもあるようで、ゴミが散乱しているアクラ市内や村でもこのピユアウォーターの袋だけを集めている人も見かけます。今回、授業に使用した袋は日常生活で私が利用した後、キレイに洗ったものを利用しました。使用したくれよんは工作くれよんです。

つまみ細工で作るループタイ。
まずは、予め書かれている円を切るところからです。次に、その円に模様をつけていきます。コイル状や縦横と線を入れる格子柄が折りたたんだ際

に、きれいな模様となつて出るので、コイル状の線、縦横の線を入れていきます。



模様を入れた5枚の円をそれぞれ2つ折りにして縫い絞つていくと完成です。とつてもおしゃれに仕上がりましたが、やはり色を付けたほうが個性色豊かな仕上がりになります。今後このピユアウォーターの袋を使った工作を授業で取り入れていきます。



工作取り組み日 10月1日 中学3年生16人

報告 2015年12月3日 TOSHIKO



協賛 ペンてる株式会社様(ずこうレヨン)